

おでかけワークショップ(議員市政報告会) ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年11月18日(土) 19:00~20:30

場所:小山会館

参加者(事務局を除く):33人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

市民)

ロードマップには大変立派なことが書いてあるが、総務部長達は前の市長の時にもう場所を決定してしまって、絵(パース)も作って広報で配っていた。有識者の方が決めたからもう自分は関係ないと思っていられるのか。その時のメンバーにあなたたちは入っていたのではないか。市民はみんな反対して、その問題で市長が交代した。市長が交代したのは、市役所を建てる場所がおかしいというのが旗印だった。市民の声が反映されていないから、今度は反映されると書いてあるが、職員も市議会議員も同じメンバーで方針をガラッと変えることができるのか。職員も半数以上が駅前がいいと言って決めてしまった。もう一度言うが、パースまで作ってしまった。それについて市議会議員は一言も謝罪をしていない。一億近く市民の税金を使って申し訳なかったと、市民の意見を吸い上げずに勝手に決めてしまったから悪かったと、だから市長さんまで交代になったと、私達が悪かったと市の広報で謝ったのか。よほど慎重にやっていたかなければ二の舞になる。まずは反省でありお詫びである。なぜこれが4年前にできなかったのかということを中心に留めて再出発してほしい。

市職員)

28年度からこの事業がスタートしたが、自分は平成30年度から基本構想や基本計画に企画課長として携わっていた。市民の意見をどれほど吸い上げたかというのは、基本構想は市民とのワークショップを多く行い、8か所の候補地がまず出てきて、話し合いの中で4か所に絞り込んだ。その後、未来のまちづくり委員会で有識者や、市民の代表、団体の代表の方々に専門的な知見から1つに絞ったという経緯がある。ただ反省

しなければいけないのは、1か所に絞る時に未来のまちづくり委員会を開催することを、広報やホームページで周知はしたが、市民に届いていなかった。傍聴に来る人が非常に少なかったというのが反省点であり、絞り込む過程がブラックボックスだと感じてしまう方が多かった。周知が市民に届かなかったというところが大きな反省点である。そのため、昨年度に藤井市長より事業の検証の指示を受け、検証部会を立ち上げて検証してきた。そこで、今回は有識者会議ではなく、市民との意見交換で決めていくという方向性に大きく変更をしている。全国でも庁舎建設で有識者会議を立ち上げないというのは珍しい。自分達も雲をつかむような状況で進めさせていただいているが、皆さんの意見を拾いながら、最後は行政として、あるいは市長が責任を持って説明できるというところで議会に上程していくというところは当然責任を持ってやっていくことが必要だと思っている。その根拠として皆さんと意見交換をしていきたいと思っているので、ご理解をいただきたい。

市民)

自分は新庁舎整備推進課によく電話をしているので分かっていると思うが、今日はなるべく前向きに話をしたい。市民の声や市民アンケートというのは、非常に聞こえは良いが、では市民が決めて、建ててから何かあった時に市民も責任を伴うが、そこまで考えてみんな意見を言っているのか？と思う。市民が責任を持ってここにしたいという意見を集めるのはちょっと難しいのではないかと思う。市長が決めたことならば仕方ない。もう一つ思うのは、市長は人気があるので、独断で理想的な美濃加茂市の庁舎を作る気は無いのかということをお市長に言っておいてほしい。さすが藤井市長だと言えるような、50年後か100年後か分からないが、あれだけのものを作ったんだと言えるような庁舎を作ってほしい。

市職員)

まず1つ目について、対話で意見が一つになるというのは我々も想定がし難い。色々な意見があるので、一つにまとまるということはないかもしれないが、ただそういった意見を聞かずに行政が決めてしまうということがやはりブラックボックスだと思うので、色々な意見を頂いて最後に候補地が3つとか4つになるかもしれないが、それをアンケートなり住民投票なりやるかもしれないし、そこに本当に建てられるのかという調査は我々が責任を持ってしっかりと行う。なので最後にこの場所でどうですかと議会に上程する責任は行政あるいは市長にしっかりあると思っているので、そこを何の根拠もなく出して、市民が自分たちは聞いていないと言わないように、多くの方と意見交換する必要がある。2つ目について、市長が責任を持ってという声はたくさんいただく。市長は、そうすることはできなくはないが、大勢の市民がそれで納得されるのかということと言われる。まずは行政と市民との対話だけではなく、市民と市民の意見交換をして進めていくべきということと言われる。最終的には1つに決める時が来るが、今は市民の声を聞く必要があるとご理解いただきたい。

市民)

ロードマップの9ページだが、市民アンケートは2月というふうに言われた。4000人しか取らないようだが、そうするとステップ1からステップ5まではいつ終わっているのか。例えばステップ1の市の役割の見える化だが、市の役割や新庁舎のコンセプトというのはどこかに書いてあるのか。ステップ1での結果、STEP2についての結果というのは本当は今日提示していただくとありがたかったが、どう思われるか。

市職員)

ステップの1から6までというのを令和 5 年度で計画しており、ロードマップは令和4年度末に、こう進めていこうと計画したものになる。ステップ1のワークショップは7月に3日間かけて行ったが、本日配布したワークショップまとめというものに、どのような目的でどのように行い、どんな意見が出たのかということをもとめている。

市民)

代表的な意見を聞いているのではなく、見える化や役割の決定したものはあるのかという質問。見える化というのは、これが結果ですかということ。色んな意見が出たということではなく、結果かどうかを聞いている。

市職員)

STEP1の結果を書いている。

市民)

これは結果ではなく代表的な意見である。見える化という、最終的に決めたものがあるかどうかを聞いている。

市職員)

市の役割については、まだ結果ということにはなっていない。

市民)

そうすると、STEP1は終わっていないということか。

市職員)

市の役割の見える化については、13 ページに STEP1の詳細が記載されている。

市民)

これは決め方ではないか。いつ結果を出すのか。一つ一つ結果を出して行くべき。結果を出さずに意見をまとめただけでは、市の結論がない。

市職員)

STEP1については意見をまとめた形になっているが、その皆さんから出た意見をもとに STEP2、3を行った。STEP2、3には決定という言葉を書いているが、こちらに関しては今現在 1500 人を対象にした市民アンケートを行っており、そのアンケートを確認した上で決定していくということにしている。

市民)

なぜ 1500 人か分からないが、いつ決定するのか。

市職員)

今年度中に決定する。

市民)

今年度中ではないだろう。2月に 6 をやると言っているのだから。

市職員)

STEP2・3の結果というものをワークショップで出す。

市民)

アンケートの結果ではなくて決定を聞いている。

市職員)

コンセプトと役割は一部の人だけに聞いたものではないので、アンケートでも聞いたうえで絞り込んだ上で決定をする。アンケートはこの間締め切ったので、その意見を集約して決定する。その決定を12月のワークショップでお示しさせていただく。

市民)

アンケートの結果ではなく、ちゃんと決定ということをお願いしたい。

市民)

若い人の意見ということで、中学生に意見を聞いていたと思うが、結果はもう出ているか。これから美濃加茂を担っていく若い人の意見はどうなのかということを知りたい。

市職員)

加茂高校生2年生の240名に対し、これから意見を聞いていくので、まだ結果は出ていない。また、東中学校3年生の280名との対話も来週行うのでまだ結果は出ていない。

市民)

若い人に期待するのは、自分達との発想の違い、自分が思いつかないようなものがあると思うので、そういうものに期待したい。美濃加茂市長は人気があって若いので、発想を変えることもできるのではないか。